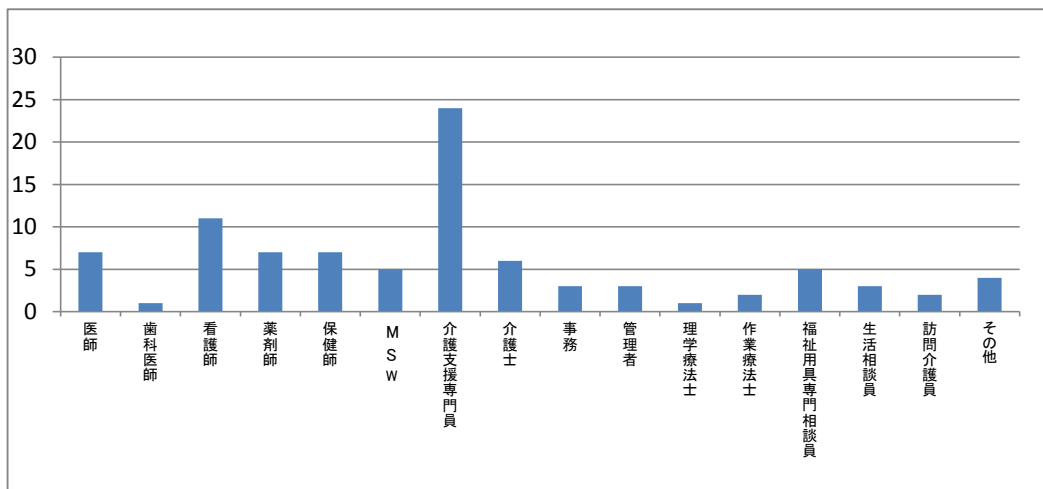
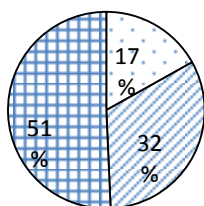


H25年度第1回人材育成研修会・多職種連携会議 アンケート結果

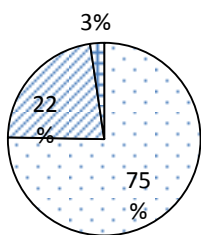
参加者の内訳



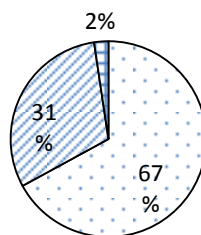
グループワークの時間は十分でしたか？



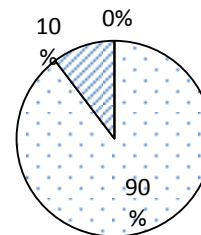
自分の考えを発表することが出来ましたか？



いろいろな方と顔見知りになりましたか？



今日の会議は有意義でしたか？



□はい □どちらともいえない □いいえ

今後、認知症の講習会・多職種連携会議を3回予定しています。講義の内容や、何でも言える関係を作るために会議の企画・運営に対するご意見(グループワークの方法など)があればお書きください。

- ・実際に認知症の方を見ておられる方に参加して頂けたらよいのではないのでしょうか？
- ・出席出来て良かったです。また機会があれば参加したいと思います。
- ・社会制度の利用、種類を知りたい。
- ・もう少し身近でみやすい内容でして頂けたらと思います。
- ・一つのグループで内容を深めるのも一つではないかと思います。
- ・グループワークの時間をもう少し増やすべきだと思いました。
- ・時間が足りない。もう少し話し合える時間が必要。
- ・名札も含め、準備が大変だったと思います。ありがとうございました。
- ・症例検討はとても役に立ちました。また、お願いします。
- ・前もって資料を頂いていたので、自分の意見が言えたと思う。
- ・グループワークの方式は今回のものがないなあと思いました。事例提供者の方にももう少し詳しい話を直接聞けると、具体的な案が出やすかったのかなあと思います。
- ・今後、認知症の人を抱える家族の方の話も聞けていけたら勉強になると思いました。
- ・今回のように事前に検討内容を考えていく必要性があります。
- ・今回グループを変えていたのは、よりたくさんの方と話が来て良かったです。
- ・症例検討の②の方、デイサービス等が工夫できるシステム出来ればいいと思う。
- ・グループワークの時間を長くしては？
- ・グループワークの話し合いは交流も出来て、すごく有益であると思います。発表も複数のグループの方から聞きたいと思います。続いて参加を希望します。お世話になりました。
- ・地域の連携も考える必要があるので、対象の方の近所付き合い、健康な時の人との関係などの情報もあるといいのではないかと思います。

- ・グループワークの仕方、あらかじめ議論の仕方を伝えて(問題点をあげて1つずつ対応の方法をのべるなど)からが良いと思います。
- ・講義より症例検討の時間を増やした方がよいと思います。先生の話は講義をではなく、コメントみたいな形でされた方がよいと思います。
- ・顔を合わせるのが目的なら、各グループの発表を持たせた方がよいと思います。
- ・職種のない新見の住民の方(民生委員の方)を入れてみるのもよいと思います。
- ・話し合いの時間を長めに設定して欲しかったです。
- ・具体的な成功事例、うまくいった工夫など知りたいです。
- ・実際の介護される方の苦しみなどが間に入って、話し合いになればいいかなと思いました。
- ・グループワークはチェンジしないでほしい。同じ方とやっと知り合えて意見交換が出来るようになったのに・・・。
- ・認知症はこれからますます増えていくのではないかな？だから地域で理解をして支えてあげないといけなく強く思っています。
- ・認知症を受け入れられない家族への宣告はどうしたら良いでしょうか？(専門医への受診にどうつなげるか)
- ・事例なら1検討でないと十分な協議が出来ないと思う。
- ・席移動もあり顔見知りと話す時間もなかった。
- ・講師の説明資料がほしいです。
- ・司会等の役割は偏ることがないようにいろんな方にまわしてほしい。
- ・何でもいえる関係、多職種連携を目的にするならば、グループワークの方法、時間、グループワーク以外のやり方も検討する必要があるのでは？
- ・どうしても話す人が偏ってしまう。思っても話せず終わる場合があると思う。皆さんが話されるような工夫があるといいと思う。
- ・症例で方向性が出たこと、同じ通所に通えるように、考えたり、かなえられる場となれば・・・と思います。
- ・事例を通したグループワークは良かったです。
- ・グループワークの時間が足りない。
- ・サービス事業所の充実が必要。
- ・昨年からは会議に出席していますが、いずれもグループワークの時間が短く中途半端に終わっている感が強い。講習会と連携会議は別に設ける方がいいのではないのでしょうか？